

K A K E G A W A

かけがわ 第42号

市議会
だより

平成25年8月1日

編集/発行 掛川市議会

静岡県掛川市長谷一丁目1番地の1
☎0537(21)1160<http://www.city.kakegawa.shizuoka.jp>

6月23日 協働のまちづくり元年記念として実施された海岸清掃(大浜海岸)

おもな内容

CONTENTS

● 6月定例会の概要	2 ページ
● 一般質問	4 ページ
● 市内の現地を視察	10 ページ
● 傍聴席/9月定例会の予定	12 ページ

企業会計決算特別委員会が7月1日に開催されました。

平成24年度病院・水道事業会計とも慎重に審議され、7月8日の本会議において認定されました。

病院事業会計 9月議会にて最終決算を審査

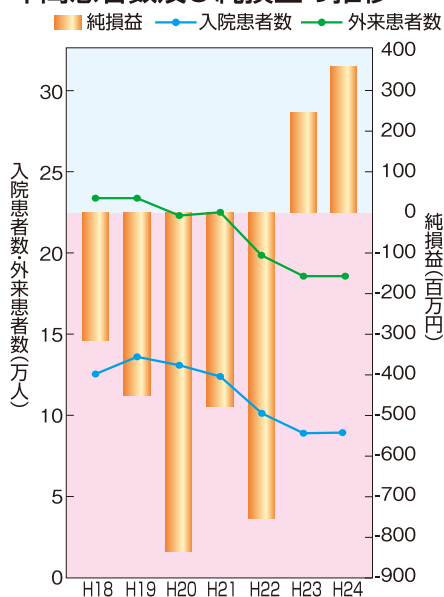
今回の平成24年度決算は閉院までの1ヶ月分を残しての決算審査となりました。したがって残る4月分の決算は9月議会で改めて審査し、病院事業清算特別会計に引き継ぐことになります。

単年度の経営収支は事業収益83億3,362万円に対し、費用は79億6,864万円で差し引き3億6,498万円の純利益で黒字決算となりました。

主な質問と回答

- Q** 黒字経営になった主な理由は、一般会計からの繰入金(10億5千万円)によるところが大きいですが、その他の理由は何か?
- A** 患者数が前年並みに確保されたことと、入院診療単価の向上があったことのほか、新病院への移行を前に、医療機器の購入や施設改良経費を必要最小限に止めたため。
- Q** 医業収支は4億9千9百万円の損失となった。近隣公立病院との比較をしてどのように判断しているのか?
- A** 公立病院は、救急や保健業務など不採算業務も実施しており、同様に損失が生じやすい。
- Q** 掛川市が受け持つ職員総数400人余の退職給与引当金はどのように捻出するのか?
- A** 今後15年間分割で所要額を一般会計から「掛川市・袋井市病院企業団」へ負担していく。袋井市も同一歩調となる。

年間患者数及び純損益の推移



水道事業会計 2年連続の赤字決算

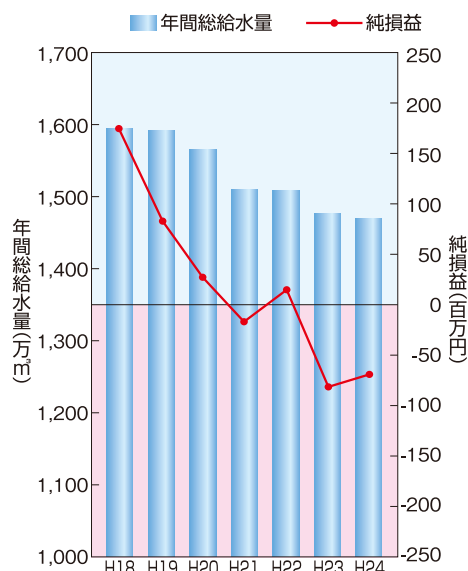
事業収支は収益26億4,649万円、費用27億2,443万円で7,794万円の赤字となり、昨年度に続き厳しい決算内容となりました。

少子高齢社会の進行と生産活動の海外移転など、社会の変化のなかで水道事業も大胆な施策が求められる状況になってきました。

主な質問と回答

- Q** 赤字決算となった理由は何か?
- A** 景気低迷と給水人口の減、節水意識や節水機器の導入などの諸要因が考えられる。
- Q** 4市(菊川市・御前崎市・牧之原市・掛川市)での広域化の方向性は?
- A** 4市とも上水道事業の広域化には前向きな姿勢であった。今後、4市で上水道事業の広域化について検討していく。
- Q** 今年度の経営改善の取り組みは?
- A** 南部事務所を廃止し、経費の削減に努めた。窓口業務や料金収納業務などの外部委託化を検討したがメリットがなく断念した。

年間総給水量と純損益の推移



6月定例会における議案の審議結果一覧

	議 案 名	議 決 内 容
【予算】	○平成 25 年度掛川市一般会計補正予算(第 2 号)について	全会一致可決
	○平成 25 年度掛川駅周辺施設管理特別会計補正予算(第 1 号)について	全会一致可決
【決算】	○平成 24 年度掛川市病院事業会計決算の認定について	賛成多数認定
	○平成 24 年度掛川市水道事業会計決算の認定について	賛成多数認定
【一般】	○掛川市立総合病院解体工事(その 1)請負契約の締結について	全会一致可決
	○市道入山瀬線第 2 期築造工事第一工区請負契約の締結について	全会一致可決
	○市道入山瀬線第 2 期築造工事第二工区請負契約の締結について	全会一致可決
	○市道入山瀬線第 2 期築造工事第三工区請負契約の締結について	全会一致可決
	○(仮称)南部体育館造成工事変更請負契約の締結について	全会一致可決
	○掛川市道路線の認定について	全会一致可決
	○掛川市道路線の変更について	全会一致可決
	○市有地の処分について	全会一致可決
【報告】	○平成 24 年度掛川市一般会計繰越明許費の報告について	受 理
	○掛川市病院事業会計資金不足比率の報告について	受 理
	○掛川市水道事業会計資金不足比率の報告について	受 理
【陳情】	○重度障害者(児)医療費助成制度の精神障害者への適用改善について、県知事宛意見書提出を求める陳情	継 続 審 査

6月定例会の経過

6月

● 13日 本会議 市長の所信、平成二十四年度企業会計決算、平成二十五年度一般会計補正予算等各議案の市長提案理由説明、監査委員の決算審査説明

● 24日 本会議 一般質問

● 25日 本会議 一般質問

● 26日 本会議 議案一部採決。

議案常任委員会付託。企業会計決算特別委員会設置、付託。

常任委員会 付託議案審査

7月

● 1日 企業会計決算特別委員会 付託議案審査

● 8日 本会議 決算特別委員会・常任委員会委員長報告、討論、採決。





**「松井ビジョン」を強調して
第二次掛川市総合計画」を**



創世会
山崎 恒男

Q 松井市長自身による「松井ビジョン」を強調して、中長期の市政運営指針を示した「第二次掛川市総合計画」を策定する必要があると思うが、市長の考えを伺う。

A **近年の社会経済情勢の早い変化に対応できる計画の必要性を痛感**

所信表明の6つの目指すべき「まちの姿」、「松井ビジョン」を盛り込んだ次期計画の構想を速度を速めて示したい。

総合計画の枠組みや構想などについて、今年度から検討を始め、できるだけ前倒しして計画を策定したい。

Q **「ふくしあ」の成果と課題、そして今後活かすことは**

「ふくしあ」の成果及び課題を、今後計画される新規施設にどのように反映されようとしているのか伺う。

A **執務室のワンフロア化により迅速な総合支援体制が可能**

執務室のワンフロア化により多職種の連携を促進し、一部の会議室を地域福祉との共用部分として、地域ケア会議や保健師による健康教育を実施。また早期支援を行うため、「ふくしあ」を健康維持・疾病予防の地域拠点と位置付け活用する。



平成22年10月1日に開所した「東部ふくしあ」

**「非核平和都市宣言」の
発展はどのようにされるか**



共産党掛川市議団
鷲山 喜久

Q 掛川市は、平成十九年三月「非核平和都市宣言」をした。市役所入口に懸垂幕、啓発看板の設置、小中学生に宣言文記載の携帯カードの配付などを行っているが、他に具体的な計画はあるか伺う。

A **宣言の懸垂幕、看板の設置、リーフレットの小学校配布などを継続的に周知**

本年八月に世界平和市長会議の総会が広島市で開催されるため、全国、全世界の加盟都市の取組状況を見聞すると



本庁舎北側に設置されている宣言看板

ともに、加盟都市相互の連携体制についても確認する。

Q **重度心身障害者タクシー利用料金助成を袋井市並に**

袋井市は、金券扱いで、タクシー利用料金の助成を行っている。「中東遠総合医療センター」が開院して、タクシー料金助成を、一枚から四枚に増やせないか伺う。

A **近隣市には無いサービスを提供**

一人当たりの交付枚数は五十二枚と、近隣市の四十八枚と比べて多く、また透析やリハビリ通院の方へは百五十六枚交付している。

事業者の基本料金などに違いがあるので、金券一枚の金額設定や、複数枚数利用時の釣り銭の扱いなどを協議し、より利用しやすい制度となるよう研究する。

【他の質問事項】

・中東遠総合医療センターについて

一般質問

Q&A



防潮機能を有する自転車道

急がれる南部沿岸地域での取り組みは

Q 南海トラフを起因とする津波の発生が予測されている南部地域は、防災の視点だけではなく、住み慣れたその場所でも、より良く暮らししていくことが選択可能になる。今年度中に一定の方向性が明らかにできるようにスピード感をもって取り組みが必要があると考えますが、見解を伺う。

A 自転車道の嵩上げと元気倍増を図る施策を検討

津波対策には防潮機能を有する自転車道の嵩上げが必要であるため、県に要望を引き続き行うとともに、庁内プロジェクトの立ち上げを検討する。

また南部の住民が愛着と安心を持って住み続けることが出来るよう、地域資源を活用したまちづくり、地域防災力とコミュニティ意識のアップ、観光・歴史資源の見直しと活用を図るためのシンポジウムの開催などの施策を検討する。

【他の質問事項】
 ・2期目の松井市政の基本理念としての「希望」について
 ・松井市長が所信表明として提示したまちづくり像の実現へ向けた方法について
 ・公共的なサービス提供へのICT活用や行政事務運営におけるICT活用等、ICT活用方向性のあり方について



創造みらい 榛葉正樹

防災計画や避難所運営マニュアルに女性の視点を

Q 県の第四次被害想定を基に、当市においても新たな防災計画を策定することだが、地域防災計画・避難所運営マニュアル作成や見直しに女性の視点は反映されるか伺う。

A 女性の視点と参画を四十二箇所全ての広域避難所で実施

自主防災会と支部員、施設管理者、市が協働で、「広域避難所運営マニュアル」に各班長や相談窓口の担当者を男女一人ずつにする見直しを全ての広域避難所で実施する。
 また、防災会議委員に三名の女性を登用する。



避難所運営ゲーム(HUG)

Q 大規模災害に備え危機管理課女性職員の増員計画は

予想される巨大地震発生時には、危機管理課へのニーズは多岐に渡る。女性職員には女性ならではの目線や配慮で市民に寄り添い、的確な判断や対応が数多く求められる。女性職員増員の計画を伺う。

A 大規模災害の発生時には全庁体制で女性の力を引き出し対応

二年前から女性を配属し、広域避難所運営マニュアルの作成や防災講話などの講師等、様々な場面で活躍している。

今後、女性の防災リーダー育成や地域防災への定着、広域避難所運営マニュアル改定と訓練の実施、備蓄品の見直し等、職員の増員が必要である。

【他の質問事項】
 ・男女共同参画社会実現について



無党派の会 窪野愛子

一般質問

Q&A

東名・新東名PAの スマートIC早期開設計画は



創世会
小沼 秀朗

Q 市内のスマートIC開設が県内で遅れをとっている。中東遠総合医療センター隣接の東名小笠PAと、内陸フロントティア構想の新東名掛川PAは、早急なる開設が必須と思われるが、その見解を伺う。

A 「スマートIC導入勉強会」を今年度も開催今年度もスマートIC設置を模索する勉強会の開催に向け、交通量の推計や費用対効果、採算性の見込みなどを検討する。またアクセス道路の整備など課題解決に努める。

「スマートIC導入勉強会」を今年度も開催

Q 多発するゲリラ豪雨に対し市の水害対策はいかがか

A ゲリラ豪雨が猛威を振るう中、水害に弱い



葵町地内の道路冠水
50~60cm(H24.8.14)

南郷地区、城西区等住宅密集地の排水対策など、新病院立地の西南郷地区をはじめ雨水排水計画を再検討し対応すべきではないか伺う。

安全・安心のまちづくりには排水対策は最重要課題

時間雨量約六十ミリメートルの降雨を安全に流下させることができるように、改修対策を積み重ね浸水被害の解消を図っていく。

新病院と工業団地の造成には、都市計画法に基づく開発行為協議を行い、西南郷地区への排水影響が発生しないように整備している。

【他の質問事項】
・中東遠中心都市掛川市の駅前シンボル東街区再開発について

公共工事設計労務単価に係る特例措置は



公明党かがわ
山本 行男

Q 国は建設業界で働く人々の賃金などの改善のために公共工事の積算に用いる「公共工事設計労務単価」を今年度、全国平均で前年対比十五・二%増の引き上げを地方自治体に要請した。これを受け掛川市の対応を伺う。

A 特例措置の要請に基づき速やかに対応

県からの適正な運用要請に伴い、対象工事の洗い出しや改定値での積算などの事前調査を行った。その結

果、歳出予算上で入札差金を充当することで対応でき、労務単価の引き上げのみを原因としての追加補正は必要無いと判断し、市も対応する。

風疹対策は

Q 風疹の感染拡大が昨年同時期より約三倍増えている。市内の状況と妊娠を希望している女性や家族にワクチン接種への助成金の考えはあるか伺う。

A 現状では、成人への助成は考えてない

成人への公費助成は、県東部の四市町で実施されているが、現在ワクチンの不足が予想されているため、成人への助成は考えていない。

県が地方交付税措置を伴う「定期接種化」を、国へ要望しており、今後の国および近隣市の動向を注視する。

※県の風疹ワクチン接種緊急対策事業に伴い掛川市でも七月一日に遡り助成開始



公共道路側溝工事

一般質問

Q&A

**報徳の教えを活かした
まちづくりを推進する
ためには**



創造みらい
中上 禮一

Q 市長は子どもたちをはじめより多くの市民に報徳の教えを伝え、未来を担う人づくりをするとの思いを述べられている。現在、市内小中学校には、人づくりのための副読本として「なるほどなっとく金治郎さん」が配付されている。しかし、学校図書用のため冊数も限られている。まちづくりをお茶の間で学んでもらうためにも掛川の教科書として全ての子どもたちには配付すべきと思うが。



掛川道徳の副読本

A **子供たちに配布を計画**

二冊の副読本は大変読みやすい物語風のものなので、掛川の教科書となるといいと思っっている。

可能であれば、子どもたち一人一人にその本が届き、家族と一緒に読むことで報徳の教えや偉人への夢や志が広がって、お茶の間が豊かになればと思っっている。

また、全戸配布についても、できる限り多くの人に手にとって見ていただくようなことを考えたい。

【他の質問事項】

- ・世界農業遺産を活用した掛川市の振興策と魅力発信事業について伺う
- ・台風シーズンを控え、停電復旧作業について伺う

**新市建設計画の
最重要施策である
南北幹線道路整備は**



創世会
鈴木 久男

Q 農道掛川高瀬線改良には、当事業主体の県との「事後再評価」協議が大前提と聞いている。新病院へのアクセス道路でもあり、再整備の必要性は益々高まっている。オープン以来五年を経過し、本年度の事業調整に期待しているが、そのスケジュールと見通しを伺う。

A **意見書を踏まえて
対応**

県事業評価監視委員会が七月から十月にかけて開催され、会議を五回、現地視察



農道掛川高瀬線 10%勾配(100m間で10mの高低差)の農道では救急車も難行

を二回予定。その後、十一月頃、県知事に対して意見書が提出され、対応方針が決定される見込みであり、それを踏まえて対応する。

新市融合のため早期着手を

Q 幅員や縦断勾配改良工事には、地元みなさんの理解と協力なしでは成し得ない。取り組み姿勢と財源確保策を伺う。

A **農地への接道や営農
に配慮した計画**

現在の道路用地内での施工は困難であることから新たな用地が必要なため、農地への接道や営農に配慮した計画とする。また、掛川大東線への影響を考慮し、片側交互通行での施工を考慮する。

合併特例債(平成二十六年度まで)終了後の財源確保には、社会資本整備総合交付金事業などの財源を検討する。

【他の質問事項】

- ・新市建設計画の意義と位置付けについての方を伺う
- ・海山連携のまちづくり推進の方を伺う

一般質問 Q&A

世界農業遺産登録と今後の取り組みは



創世会 竹嶋 善彦

Q 生物多様性を育みながら、伝統農法を継続的に良い維持管理が求められている。高齢化の進む中山間地では、農家の負担も多いが、行政としてどのような支援を考えるのか。

A 制度の延長と知事特認の継続、及び交付金の見直しを要望

中山間地域等直接支払交付金制度(平成二十六年度終了)の延長と、知事特認(東山・日坂地区の一部)の継続、及び茶草場に関する交付金単価を茶畑並みの交付金単価にするよう国県に要望し、地元には適用区域の拡大を働きかける。また、茶草場がある空間は、貴重な環境資源なので、維持



粟ヶ岳の茶文字

管理に、広く市民の支援が得られるような仕組みを検討する。**超高齢社会と人口減少社会の到来にどう立ち向かうか**

Q 市長任期中に第二次掛川市総合計画を策定することになるが、今後到来する人口減少と高齢者の激増のなかで、駅前再開発が進められている。どのような街づくりを考えるのか。

A コミュニティビジネスの誘致を進めるリーダーディングプロジェクトを実施

掛川駅前東街区再開発事業を実施し、第二期中心市街地活性化基本計画を今年度中に進め、二期計画の核事業として西街区の再開発事業やコミュニティビジネスを推進する。

これらの開発で、居住人口や交流人口の増加を図り賑わいに繋げ、高齢者にもやさしいまちづくりを進める。

※リーディングプロジェクトとは中心市街地の賑わい再生の第一歩として推進するための事業

南海トラフ巨大地震に備えた津波防災対策は



共産党掛川市議団 渡邊 久次

Q 巨大地震によつて最大クラスの地震が発生した場合を想定し、南部地域の海拔十メートル以下の地域の住民が迅速かつ安全に避難することが難しい「津波避難困難区域」がどの程度あるか伺つ。

A 「津波避難困難地域」に該当する地域はない

津波避難施設を三基設置するとともに、事業所が補助制度により整備する津波避難施設を十三施設確保できている。このため、津波浸

水域から避難できる状況が確保され、予想される津波の到達時間までには避難が可能となり、「津波避難困難地域」に該当する地域はないと考える。

体内被曝を防ぐための「安定ヨウ素剤」の配布体制は

Q 原発事故によつてヨウ素131等の放射性物質が放出された場合に、学校や家庭への「安定ヨウ素剤」の配布をどのように考えているのか伺つ。

A 二重配布、副作用等の問題などを加味し検討

国の指針では、原発から五キロメートル以内のPAZ(予防的措置範囲)においては住民に対し事前配布する方針が示されている。

掛川市はPAZ外なので、市民への事前配布については、医師の問診や学校と各世帯への二重配布、副作用等の問題などを加味し検討する。



菊浜区の津波避難施設



**IT企業等、小規模企業
誘致、企業支援に関して**



創世会
山本 裕三

Q

近年産業構造の変化
でIT企業の発展が顕
著である。市の将来を支える
産業を育成するという観点、
そして将来の子どもたちの
雇用を創るという観点でも
ソフト産業誘致、起業(企業)
支援に力を入れるべきでは
ないか伺う。

A **産業支援センター整
備や市民ファンド支
援制度を検討・研究**

中小企業に対して産業立地
奨励事業費補助金制度を平
成二十三年度から施行した。
掛川商工会議所内には「も
のづくり補助金」「創業補助
金」「しずおか夢起業」などの
「中小企業相談所」の窓口を
設置し、県等と連携し支援相
談に応じている。
市独自の小規模企業支援
策や創業支援策を検討・研究
する。

街中の高齢化対策は

Q

掛川中心部は市内で
も最も高齢化が進んで
いる地域である。若い世代
が郊外に家庭を持ち近年ま
すます高齢化が進み空き家
も目立つ。街中の高齢化対
策、高齢化した地域の防災に
関して伺う。

A **地域で支え合う体制
づくりや地域での交
流が必要**

声掛けや訪問、ゴミ出しな
ど見守りネットワークの構
築が必要のため立ち上げを
支援する。
また地域での共助を進め
るため「災害時要援護者避難
支援計画」を策定し、無料の
耐震診断などの策定や耐震
工事に補助制度を整備し、高
齢者世帯には無料の「家具の
転倒防止」などの制度を用意
する。

【他の質問事項】

・公共施設(指定管理施設)の管
理運営について

議会報告会を開催します ~開かれた議会を目指して~

議会報告会は議会基本条例に基づき議会活動について、市民のみなさんに説明責任を果たすとともに、みなさんの意見を把握し、議会活動に反映させることを目的として開催するものです。全議員を3班に分け、9会場で議会活動や市政に関する報告と意見交換を行います。本年度は、10月下旬から11月上旬にかけて行う予定です。今後、広報かけがわや市ホームページ、地区回覧などで日程をお知らせします。多くのみなさんの参加をお待ちしています。

議会基本条例とは

市民と議会との関係、議会と行政の関係、また議会や議員の責務などを定める条例で、議会の最高規範となるものです。本年4月から施行されたことに基づき、議会報告会や政策討論会を開催していきます。

政策討論会とは

市政に関する重要な政策や課題に関して、議会としての共通認識の醸成を図るとともに、合意形成を得るために開催するものです。全議員によってテーマを決め討論を行い、当局へ提言を行います。

市内の現地を視察

各常任委員会において、5月下旬に所管事務事項の調査として、
市内の現地視察を実施しました。
各委員会より現地視察の内容を報告します。



総務委員会

所管事項

総務部、企画政策部、危機管理部、消防本部、出納局、監査委員、選挙管理委員会、公平委員会及び水道部の所管に属する事項並びに他の常任委員会の所管に属さない事項

〔視察箇所〕

- 松ヶ岡旧山崎邸(十王)
- 旧スポーツ振興跡地(倉真・上西郷)
- 新東名森掛川IC周辺地域(内陸フロントエリア構想)(原田)
- 菖蒲ヶ池工業団地(下俣久保・長谷・高御所)
- いのちを守る「希望の森づくり」プロジェクト植樹地(沖之須)
- (仮称)南部体育館建設予定地(大淵)
- 菊浜区津波避難施設(菊浜)
- 南北道路市道入山瀬線(入山瀬)

海岸線の防災対策「希望の森づくり」「津波避難施設」(仮称)南部体育館建設予定地「北部は、内陸フロントエリア構想に関連する「森・掛川IC周辺」「旧スポーツ振興跡地」などの視察を行いました。南部では、施設を活かした防災マニュアルを、北部では、地域の声を反映した土地利用のあり方を、私ども、委員会も研究する必要性を痛感いたしました。

総務委員長 山崎 恒 男



松ヶ岡 旧山崎邸(十王)



菊浜区津波避難施設(菊浜)

環境産業委員会

所管事項

環境経済部、都市建設部及び農業委員会の所管に属する事項

〔視察箇所〕

- 掛川浄化センター(長谷)
- 菖蒲ヶ池工業団地
(下俣久保長谷高御所)
- 南北道路市道入山瀬線(入山瀬)
- 大須賀浄化センター(沖之須)
- 新井最終処分場(大淵)
- 大東浄化センター(三俣)
- 大東マリーナ(国安)
- シートピア(国安)
- 南北道路都市計画道路
海洋公園線(国浜)
- 東遠地区聖苑組合(菊川市西方)
- 環境資源ギャラリー(満水)
- 新工コポリス第二期工業団地(満水)
- 世界農業遺産茶草場(東山)

現地視察を実施する意義を考えてみました。特に議員は各地に居住しているため、関連の現場を知らずに審議をする場合もあります。各施設や現場には目的役割・課題もあります。それを現場で見聞することは重要です。今回も費用対効果などシビアな評価をすべきだと思っ現場もありました。しっかりとした評価をするためには、広い視野と厳しい目を養うことが必要だと感じました。

環境産業委員長 草賀章吉



大東マリーナ(国安)



大須賀浄化センター(沖之須)

文教厚生委員会

所管事項

健康福祉部、教育委員会の所管に属する事項

〔視察箇所〕

- 旧病院跡地希望の丘計画地(杉谷南)
- 教育センター(三俣)
- くによす苑(国安)
- (仮称)南部体育館建設予定地(大淵)
- 吉岡彌生記念館(土方)
- 桜が丘中(校舎改築補強事業)(富部)
- 西郷世代間交流施設
(西郷みらい館)(上西郷)
- ひまわり工房(神明町)
- 障害児児童保育かざぐるま
(総合福祉センター内)(神明町)

新病院が開院しました。病院跡地は新たに、医療・保健・福祉・介護・教育に関する施設として一体的に位置づけられます。

官民の力を活用した「健康医療日本一のまちづくり」の中核ゾーンとして総合的に整備することになります。子どもから高齢者まで幅広い分野を担当する委員会としての責務を担うため、現地視察をしました。

文教厚生委員長 鈴木久男



(仮称)南部体育館建設予定地(大淵)



旧病院跡地 希望の丘計画地(杉谷南)

議 会 日 誌

5月

- 21日 ○市議会全員協議会
- 22日 ○全国市議会議長会定期総会(東京)
- 23日 ○議会だより編集特別委員会
- 24日 ○総務委員会協議会
 - 環境産業委員会協議会
 - 文教厚生委員会協議会

6月

- 29日 ○文教厚生委員会現地視察
- 30日 ○環境産業委員会現地視察
- 31日 ○総務委員会現地視察
- 5日 ○静岡県地方議会議長連絡協議会定期総会(静岡市)
- 6日 ○議会運営委員会
 - 議員懇談会
- 13日 ~7月8日
 - 掛川市議会第3回(6月)定例会

7月

- 17日 ○議会だより編集特別委員会
- 21日 ○議会報告会運営会議
- 28日 ○協働のまちづくり推進特別委員会
- 3日 ○議会だより編集特別委員会
- 10日 ○議会だより編集特別委員会

傍聴席

議会傍聴は、政策課題を直接聴ける良い機会だと解つていても、時間を割いてそこへ足を運ぶには自分にそれなりの理由がないと行動には結びつきません。

私は今まで数回傍聴に行きましたが、一つは取り上げられる内容に興味がある、もう一つは質問する議員に関心があることが傍聴理由でした。

今回は後者で、選挙で初当選した議員がどんな質問をするか気になったからです。初議会に新議員が四人も登壇するというのは珍しいことだと思いますが、それぞれの応援者が見守る中、みなさん緊張の中にもしっかきり発言されていて頼もしく感じました。

答弁が一問一答方式になったのも解り易くなりました。議会は議員の考えや日ごろの取り組みを表現できる場であり、先輩後輩関係なしに議員同士が切磋琢磨する場でもあると思います。そんな貴重な場を拝聴できる傍聴席が常にいっぱいになることが、無駄のないよりよい市政につながることを考えます。

藤井康子(上垂木)

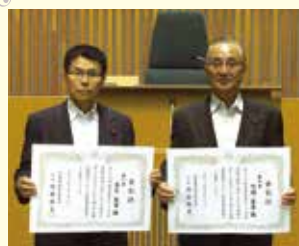
9月定例会の予定

【9月】

- 2日 本会議(議案の提案説明)
- 11日 本会議(一般質問)
- 12日 本会議(一般質問)
- 13日 本会議(議案質疑、委員会付託)・常任委員会
- 19日 一般会計・特別会計決算特別委員会
- 20日 一般会計・特別会計・企業会計(病院)決算特別委員会

【10月】

- 1日 本会議(委員長報告、質疑、討論、採決)



表彰を受けられた(左から)高木敏男議員、竹嶋善彦議員

五月二十二日に開催された全国市議会議長会第八十九回定期総会において、高木敏男議員、竹嶋善彦議員が市議会議員一般表彰十年以上表彰を受けられ、記念品が授与されました。

編集後記

四月の選挙により、新しい委員で議会だよりの編集を取り組んでいくことになりました。

議会だよりは年五回発行、毎回三八、七〇〇部を印刷して各戸へ配布、二年の総額は約二七〇万円です。だからこそ多くの方に見て読んでもらえるように、分かりやすく読みやすいものにしていく改良が求められているのだと感じています。皆さまのご意見をお寄せください。

議会だより編集特別委員会
委員長 高木敏男



議会だより編集委員(左から)渡邊久次委員/棟葉正樹委員/中上禮一委員/高木敏男委員長/野口安男副委員長/山本行男委員/雪山敏行委員/窪野愛子委員

※この市議会だよりは、資源リサイクル推進のためグリーン購入法適合再生紙を利用しています。